

番組審議会 第 7 0 7 回

2 0 2 6 年 9 月 1 4 日

■ 委員の出席

委 員 長	音	好 宏	
副委員長	江 澤	佐知子	
委 員	川喜田	尚	田 中 東 子
	洞 口	依 子	長 嶋 有
	二 関	辰 郎	目加田 説 子
	谷 本	歩 実	(リポート提出)

T B S テレビ	龍 宝 社 長
	竹 内 常 務
	井 上 取締役
	渡 邊 コンテンツ戦略局長
	曹 情報制作局長
	今 井 情報三部長
	須 田 プロデューサー
	小 川 編成考査局長
	浜 崎 カスタマーサクセス室長
	加 来 番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「上田晋也のサンデーQ」

8 月 3 0 日 (日) 1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 5 4 放送

(2) その他

2. 報告事項

(1) 2 0 2 6 年度下期の編成方針

3. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声

(2) 次回審議会の議題及び日程

【審議番組について】(「上田晋也のサンデーQ」)

2026年4月よりレギュラー放送開始。

一見自分には関係ないと思える国内外のニュースを「あなたもニュースの当事者です!」というメッセージとともに届ける、ウィークリーの生放送情報番組。

最大の特徴は、出演者の疑問を専門家がその場で解消していくライブ感。誰もが抱く素朴な疑問を、上田晋也がスタジオですべて拾い上げ、徹底的に掘下げる。

井戸端会議のようにリラックスした雰囲気の中で、一週間のニュースに触れられる番組を目指す。

【委員の主な意見】

- ☐ 「スタジオの空気感は、日曜お昼のファミリーレストラン。井戸端会議のようにリラックスした雰囲気の中で」とホームページにあるように、文字通りその目的は達成されていると思った。スタジオの雰囲気はとても和やかで、上田さんの捌きも見事だし、パネラーとのやり取りもスムーズで、文字通りファミリーレスのような雰囲気で進行していたと思う。
- ☐ 一つ一つは着眼点もいいし、我々視聴者の身にとってはとても重要な情報だと思うが、ちょっとてんこ盛り感というか、お昼のファミリーレスの井戸端会議と言う割には何となくテンポも早いし、短いので、もうちょっと知りたいという感じの消化不良感がちょっと残った。
- ☐ 内容としては、冒頭に直近の話題とか、ニュースを短くフラッシュ的、インデックス的に見せて、その後、専門家とか裏付けの情報などがあって、とても把握しやすかったし、話題ごとのまとめ方も腑に落ちた。
- ☐ ゲストの芸人さんとかタレントさんと専門家の人のスタジオでのやりとりが

面白かった。テーマとかその日扱っているニュースについて、質疑応答的な感じのやりとりを見せながら情報を提示していくという、ここはちょっと新しいので、もう少し掘り下げていくと面白いかなと感じた。

□ 出だしは冷ややかな印象を持って見てしまったが、通常のニュースを挟んだ後、それぞれのテーマを深掘りというところで徐々に印象が変わって、番組説明資料にあるように、生活に直結する身近なトピックを中心として、それを結構取り上げているという点で、災害の問題をはじめとして興味深く見ることができた。

□ てんこ盛り過ぎる。色々な要素のあれもこれもがギュッと詰まり過ぎていて、それを無理やり井戸端会議の中の一個人に振ろうとしている。その空間に自分も入り込んでいるような感じをもう少し出せたらいいのかなと思った。

□ 親しみやすさがありながら、しっかりと見応えのある番組だった。災害に限らず、時代の変化や社会の様々なテーマを「深掘りして学ぶ時間」として、TBSの中でも意義のある番組だと感じた。

□ ダークパターンを紹介して、法規制の動きが出ていることを説明していたのは良かったが、ユーザーが個人として取れる対策にはどういうものがあるかという情報提供が十分ないと、視聴者をむしろ不安な立場に追い込んで終わるようなことがあるのではないかという気がした。

□ 日曜日のお昼の番組として、とてもカラフルで、明るくて、華やかな印象を受けた。一つの内容に関してすごく丁寧で、私たちが知りたいところを逆にどう見せていくのかという思考のもとで考えられているというのがよくわかった。

□ スタジオセットの雰囲気、番組タイトルも含めて既視感があったこと。どこかで見たような、聞いたような雰囲気があって、登場感があまりなかった。

- 情報番組だけど、ニュースで行くのか、バラエティで行くのか、エンタメに振るのか、まだまだ見えないという感覚で拝見した。「昔、見ていたな」みたいな感じの情報バラエティの典型という感じで、まだまだ個性が見つけ出せていない番組なのかなと思った。
- 「サンデーモーニング」、「サンデー・ジャポン」ではないものにする。あれのようじゃなく、これのようじゃない場所に駒を置きに行った番組のように見える。「サンデーQ」がどうしても無難で、置きに行ったように見えるが故の無個性なものに見えてしまっていると思う。
- 逆のことを二つ申し上げると、一つは、生番組なので「生だから」できることをもっとやった方がいい。もう一つは、上田さんがこれまでやってきたスタジオでの非常に的確な回しみたいなこととは違うものがあつた方がいいのではないかなと思う。
- 司会の上田さんが見事で、この人頼りに渡してしまわないように分散して楽しいお昼のひと時の情報番組として、長く続けていくことが良いのかなと思って拝見した。

【局からの回答】

- 「安心して見られる」というところを私たちはすごくプライオリティにし過ぎていて、先ずはそっちとなると、こんなにも無難という印象を持たれてしまっていると感じた。これからもっと個性を出して作っていくことを頑張らないと、と思っている。
- 「てんこ盛り」というご意見もありましたが、そこは我々も毎回、どっちが
いいか、試している段階である。どっちに振り切ろうか、我々も数字を見ながら悩んでいたのもので、そういった意見をいただいて、欲張り過ぎずに一個を最後までやり切るというのをやってみる回があってもいいのかなと感じた。

- 「サンデー・ジャポン」の視聴者からすると、構造的な部分は一緒で、同じことをやっているという印象を持たれているところは番組としても課題と感じている。今後どうブラッシュアップしていくか見ていただきたい。